

病害虫 防除だより

No. 321

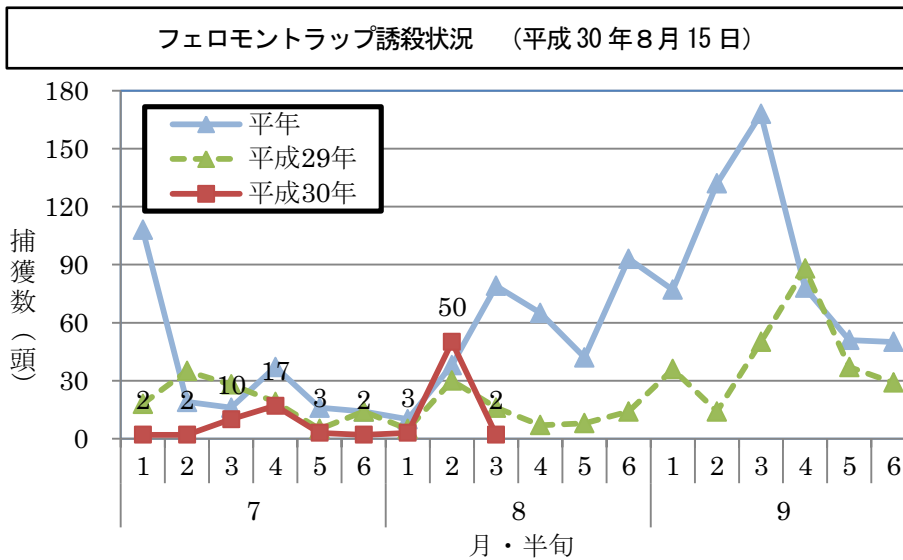
平成30年8月20日

ハスモンヨトウ の多発生に注意!!

ハスモンヨトウは幼虫が多く、多くの農作物を集団で加害し、大きな被害をもたらします。今後幼虫による被害が多発する恐れがありますので、防除を徹底しましょう。

1. 発生状況

8月2半旬にフェロモントラップにおいて誘殺数の増加がみられたため、この頃に飛来があったものと思われます。その飛来成虫が産卵し、幼虫が現在加害しています。今後も台風や前線の通過後に飛来量が増加するため、防除を徹底しましょう。



2. 防除対策

- 注意が必要な作物：ダイズ、ソバ、キャベツ、ブロッコリー、サトイモ、ネギ
- 圃場をよく見て回り、卵塊や若齢幼虫の集団を見つけたら、葉ごと取り除く。
- 中齢～老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、見つけ次第防除する。
- 育苗期や定植直後は被害が大きくなるため発生初期の防除に努める。

ダイズ生育期の主な防除薬剤

薬剤名	使用濃度	10aあたり使用量
エルサン粉剤 3DL		4kg
エルサン乳剤	1,000倍	100~300ℓ
トレボン粉剤 DL		4kg
トレボン乳剤	1,000倍	100~300ℓ
マトリックフロアブル	3,000倍	100~300ℓ
プレバソンフロアブル 5	4,000倍	100~300ℓ
ベネビア OD	4,000倍	100~300ℓ

対象作物によって登録薬剤が異なるため、薬剤の選定にあたっては平成30年度農作物病害虫防除指針を参照する。

(ソバ：52ページ、キャベツ：104ページ、ブロッコリー：109ページ、サトイモ：127ページ、ネギ(シロイチモヨトウ)：118ページ)

☆ 最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい ☆

農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう